

自然を満喫するならここ！

ポリテクセンター京都の末松先生より紹介を受けました、ポリテクセンター長野の大石です。京都にいたとき末松先生にはいつも面白い？ギャグで楽しませてもらい、仕事でも大変お世話になりました。今回は旅行の話をとことなのので、考えた末、やはり珍しくて私のお勧めの場所ということで、高度ポリテクセンターの中居さんと一緒に、沖縄の西表島に行ったときのことを書きたいと思います。

西表島は何といっても自然です！日本とは思えない鬱蒼としたジャングル、タコの足みたいな根を持つマングロープの木々、そして真っ青で透明な海。夜には街灯がほとんどないため空一面に星を見ることができ、さらに冬だったというのにホテルが驚くほどいるのです。本当に島のどこに行っても自然の雄大さに驚かされるばかりでした。そして、人の少なさにも驚かされました。観光地に行けばそれなりに人はいるのですが、それ以外ではほとんどいません。ドライブをしても「あれっ今まで対向車とすれちがったっけ？」という会話が出るほど車を見ないですし、海に行けば、ここは私たちのプライベートビーチ？と勘違いするほどだれもいません。でも人がいないおかげで、どこに行ってもゆったりと過ごすことができました。

私たちが旅をすると必ず、その旅に1回は、「仕出かした〜!!」という出来事が起こります。今回は西表島から由布島という小さな島に渡ったときに起こりました。由布島へは、水牛車に乗っていくのですが、引潮のときなどは歩いても行けるとのことなので、それなら！ということで私たちはまだ完全には水の引いていない海の中を、ズボンの裾を膝の上までまくり上げはだしで歩いて行くことにしました。牛たちがのんびりと歩いていくなか私たちも気持ち良く歩いていたのですが、そばにいる



牛を見ているとお尻のほうからぼとぼとぼと……そして私たちの足元を見てみると海水を伝って流れてきているのです。「いや〜っ!!」と思っても、時すでに遅し！私たちがいたのは島と島との中間地点で、引き返すこともできず踏まないように踏まないようにと泣く泣く由布島へと渡りました……。

まあこのような失敗はありましたが、この旅行ではかなり自然を満喫することができました。西表島へは、石垣島からフェリーに乗って約40分かかります。遠いなぁと思われると思いますが、それだけの価値がありますので、ぜひ皆さんも自然と一体になりに西表島まで行ってみてください。もしかしたら私たちが巡り会うことができなかった天然記念物のイリオモテヤマネコに会えるかもしれませんよ。

◇

さて次は、ポリテクセンター広島島田さんです。

島田さんには、京都で大変お世話になりました。趣味が多彩な方なので面白い話をしてくださると思います。楽しみにしててください。